

ユニバーサルホッケー

難易度

★★★★

場所

屋内

人数

6人対6人

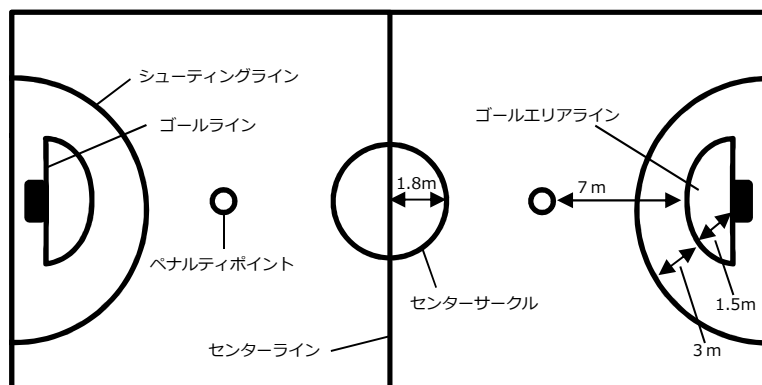
軽量プラスチックのスティックで行うホッケー形式のスポーツで、屋外競技名：バンディ、室内競技名：インネバンディ、ユニバンディ、ユニバーサルホッケー、商品名：ユニホック、スパーホッケーなど様々な呼び名があります。

用具

- ・スティック (70～100 cm、重さ 240～300 g)
- ・ボール (18 個の孔の開いた空洞のボール、周囲 24 cm、重さ 25 g)
- ・ゴールポスト (幅 100 cm×高さ 90 cm×奥行 50 cm)

コート

- ・縦 20～30m、横 10～15m



ルール

- ・ゴールキーパーは置かず、相手ゴールにスティックを使ってボールを入れ、点数を競う。
- ・競技時間は前半、後半ともに 10 分とし、間に 2 分間の休憩を設ける。
- ・各チーム代表者 1 人がセンターサークルに入り、自陣を背にしてボールを取り合う「フェイスオフ」を行う。フェイスオフは中央に置かれたボールからスティックのブレードを 30 cm 離してセンターライン上の床につけ、審判の合図により行う。
- ・フェイスオフを行ったプレーヤーは他のプレーヤーが触れるまでボールに触れられない。
- ・得点は 1 ゴール、1 ポイント制とする。
- ・得点后及び後半の開始時はフェイスオフで競技を始める。
- ・競技を中断せずに、選手交代を行っても良い。

●認められる行為

- ・周囲の壁、フェンスにボールをぶつける。
- ・腕と頭以外の身体の一部を使いボールを止めること。足でボールを止めること。

●フリーストローク

- ・足でボールを蹴ること。
- ・スティックを膝より上にあげること。
- ・寝そべったり、膝を着いた状態でパスやシュートをする事。
- ・スティックを投げる事。
- ・フライングボールを叩き落としたり、つかんだり、前方に落としたりすること。
- ・フェイスオフのとき、続けて2度ボールに触れる事。
- ・相手チームのプレイヤーのスティックを故意に打ったり、押さえたり、持ち上げたりすること。
- ・身体の一部を相手チームのゴールエリアに踏み入れる。
- ・反則あるいはボールをコート外に出したとき
- ・相手チームのプレイヤーを押したり、つまずかせたり、蹴ったりすること。
- ・ゴールポストをシュートが飛び越えること。
- ・スティックを水平に保持し、シュートや攻撃を防ぐこと。

●ペナルティーストローク

ペナルティーストロークは、反則を犯したチームの相手プレイヤー1人がペナルティポイントから1回シュートをすることで、シュートをするプレイヤー以外はペナルティポイントよりもさらに後方2mの位置に並ぶ。この際、シュートされたボールがゴールラインを越えるまで前方へ動いてはいけない。

- ・身体の一部を自陣のゴールエリアに踏み入れること。
- ・ゴールポストの中にスティックを入れて守ること。